

平成24年度 特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター 事業報告

(1) 特定非営利活動に係る事業

●秋田県から単年度契約として「県南地区市民活動サポート業務」を受諾した。

NPO相談業務は法人設立・団体の運営に関わる相談とともに、コミュニティービジネスを起業したい等団体の自立を目指す事業についての相談が増加傾向にある。

また、行政とNPO双方から協働に向けたパートナーとしての情報の提供とコーディネーションが求められ、企業からもCSRについての問い合わせなど協働に関する事業協力依頼があった。これらをふくめ今年度は756件の相談があった。

地域に於いて中間支援NPOの役割がますます必要とされている現状がある。

情報誌は、今年度から紙媒体での発行は県南県北地区は廃止となり、市民活動情報ネットに掲載される事になった。依然として紙媒体への要望は根強いものがある。法人独自でイベント情報等を紙媒体で配信している。改正NPO法に関する情報、協働の特集、CB・CSRの活動事例、NPOの会計経理の特集など、市民活動団体の運営基盤の強化に係る記事を掲載した。

中間支援として県内NPOの様々なデータを集積し分析する事で、社会におけるNPOの位置づけ、団体の課題解決や評価、他セクターとの協働も視野に入れ、市民活動の促進につなげたい。

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 秋田県南地区市民活動サポート業務委託事業
事業内容	県南地区市民活動サポート業務 ・ボランティア・市民活動相談業務 相談件数 756件 ・関連情報の収集と提供 市民活動の促進に係る支援事業 ・NPO・ボランティア情報誌発行業務（「はんさん」年10回発行）
実施時期	平成24年4月1日～平成25年3月31日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター [南部市民活動サポートセンター]
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア 一般市民 行政 企業
委託総額（円）	5,098,000円

●NPO運営力パワーアップ事業

- ・NPOにとって必要な会計経理についても、セミナー・個別相談会を実施した。NPOの多くは会計経理の専門性を確保する事が難しい実態が見える。
- ・助成金セミナーはスグッチファンドに特化し、具体的な申請に向けた内容とした。課題解決のために資金を調達すべく各NPOが参加し、企画申請について学んだ。
- ・情報発信力向上セミナーでは、手書きイラスト講座、ITによる動画の発信を学んだ。
- ・活動報告会&意見交換会は、先進的活動団体を講師として招聘し、NPOの展望と課題について実践例を通し考える事が出来た。

・活動発表及び意見交換会は、事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 NPO運営力パワーアップ事業（県南地区）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会計・経理支援セミナー 法人会計・経理セミナーと各NPOの個別相談会。 講師 税理士 飼田一之 ・助成金申請支援セミナー「スグッチファンドをもらちゃおう」 講師 認定NPO法人あきたスグッチファンド事務局 ・活動報告と意見交換会 講師 「岩崎NPO」理事長 「一里塚」理事長
実施時期	平成24年6月20日～平成25年2月28日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア 一般市民 行政 企業
委託総額（円）	320,733円

●平成19年度から全県のNPOが秋田県とともに、地域づくりを応援するNPO法人「あきたスグッチファンド」を設立し、運営に参加している。市民団体にとって使い易い助成金、循環する資金の仕組みを創り上げ、市民・企業の善意の寄付と県の資金で、県民による秋田を元気にする地域づくり活動を支援する事を目的とした。今後県からの資金が終了するが、今後如何にして、現状の循環する資金調達の仕組みを継続拡大出来るか課題はある。

●3・11による被災者支援・ボランティア活動について、多くの市民から相談が寄せられた。当法人の事業や、県内各地の支援団体を紹介する等、想いを支援活動につなぐ事が出来た。

次年度からの被災者支援活動に向けて、当法人が中心となり、県南各振興局、各市町村、NPOによる「県南地区避難者を支援する連絡協議会」を平成25年2月に設立した。

●昨年度に続き、人材育成として「NPO研修事業・IM養成研修」に、法人の職員も参加する事ができた。全国の先進的NPOの現場を経験し、研修の中で、日常業務では身につける事の出来ない他団体の活動仕組みを学び、スキルアップした。組織内でも共有する事が出来た。

秋田県のNPOの現状に対し問題意識も芽生え、今後の活動に反映させ地域に還元したい。

●融資利用促進事業では「NPOと金融機関との意見交換会」を全県3地区に於いて開催した。相互理解が不十分であることの解消と、NPOへの融資に対するきっかけづくりの場が提供出来た。NPOの自立に向けて、金融機関からの支援、コンサルティングまで定着するには時間が必要だが、その足がかりになる事業だった。

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 融資利用促進事業
-----	--------------------------------

	<p>全県3地区に於いてNPOと金融機関との意見交換会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各金融機関のNPOに対する融資の仕組み手続きと現状。 NPOに対する融資条件についての説明。 ・NPOからの活動発表、組織について説明。融資に対する要望と質問。 ・顔の見える関係性の構築。 ・先進的NPOの講演とアドバイス 参加者と質疑応答
実施時期	平成24年6月20日～平成25年2月28日
実施場所	<p>県北 秋田県北部男女共同参画センター</p> <p>県央 遊学舎</p> <p>県南 秋田県南部男女共同参画センター</p>
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	NPO法人・市民活動団体・ボランティア 秋田銀行 北都銀行 日本政策金融公庫 東北労金
委託総額(円)	697,362円

● 県南地区NPO出前講座事業

NPOによる県南小中高校への出前講座を行い、実践者による多様なNPO活動を紹介することで、生徒に対しNPO理解の促進が出来た。生徒は多様なNPO等の活動を知ることにより、多様な生き方と他者への理解と受容、それが相互尊重にもつながる意義ある事業だった。

活動団体にとっても、伝えるために自身の活動が整理され、今後に向けて団体活動に新たな展望が生まれた。

事業名	市民活動の促進に係る行政との協働事業 県南地区NPO出前講座事業
事業内容	・各学校の希望に応じた団体をマッチングし派遣した。 環境、福祉、まちづくり活動 地域の歴史、企業の考え方と実践を学んだ。
実施時期	平成24年4月17日～平成25年2月28日
実施場所	県内小学校・中学校・高等学校 5校
従事者の人数	1名 県南各NPO 企業
受益対象者の範囲及び人数	県内小中高生
委託総額(円)	311,200円

● 「NPO派遣相談員設置事業」派遣相談員1名を設置した。

事業名	ふるさと雇用再生特別基金事業 NPO派遣相談員設置事業(県南地区)
事業内容	CBの普及啓発、具体的な起業支援のための相談会を開催。企業とNPOの協働に向けたCSRセミナーを開催、さらに県内の廃校や空家の情報収集に努めその活用を考えた。 市民活動団体などから、地域課題の解決にビジネスの手法で臨み事業の継続を図り

	たいという要望があり、それに応えることの出来る事業だった。 企業に対するCSRの啓発と、他分野との協働の促進を図った。
施時期	平成24年4月2日～平成25年3月29日
実施場所	秋田県南地区
従事者の人数	雇用員1名
受益対象者の 範囲及び人数	秋田県南地区市民活動団体・ボランティア、地域づくり団体 企業
委託総額(円)	3,202,485円

●当法人提案事業である「地域の若者育成支援事業」(若者会議)を受諾運営した。
今年度は、全県3地区(県北・中央・県南)の若者ネットワークのゆるやかな構築と、各地域の活動の活性化を目指しワークショップを重ね、若者会議の規約を作成し、組織としての自立に向けた第一歩となった。全県のネットワークが構築され若者が繋がることで、「秋田を元気にする若者ウエーブ」になりつつあり、継続事業として県に提案して行く。

事業名	ふるさと雇用再生臨時対策基金事業 「地域の若者育成支援事業」(若者会議)
事業内容	若者行動力発揮推進事業推進員1名を雇用した。 人口の減少や高齢化が進む秋田県において、将来を担う若者自らが自分住む地域や秋田県を暮らしやすく、また夢や希望を持てる地域とするために、地域の課題や若者を取り巻く問題について、柔軟な発想で思考し行動した。 広域若者会議の全県ネットワーク会議を年3回開催し、講師を招いた講演会、市町村を交えた情報交換会によって若者と市町村との協働の体制作りにも努めた。大崎市より、行政職員とNPO3名が、会議の視察に訪れ、今後秋田を参考とした若者の連携を考えて行くとのことだった。 また、静岡県立大学より若者会議について講演を依頼され担当職員が出向いた。今後は全県の若者ネットワークと、県外若者との連携も視野に入れたい。
実施時期	平成24年4月20日～平成25年3月31日
実施場所	秋田県南地区 県央地区 県北地区
従事者の人数	雇用員1名 指導員1名 各地区若者ボランティア多数
受益対象者の 範囲及び人数	秋田県全域若者 市民活動団体・ボランティア 地域づくり団体 地域住民 小中高生
委託総額(円)	3,741,000円

●県民のNPOボランティア活動等、多様な社会活動への理解と参加を促進し協働のきっかけをつくり、参加団体の活動をPRして行く。

事業名	県南地区「あきた協働ウイーク」開催業務 ～知ろう・動こう・つながろう～ 「きょうどう!？」 24・9・9開催
事業内容	オープニング YOKOTEよさこいキッズ 1 みんなのシンポジウム 「市長と町長が語る!地域の垣根を越えた後三年観光」 対談 五十嵐横手市長 松田美郷町長 「パネルディスカッション」 コーディネーター (株)横手運送 塩田社長 パネリスト 横手市長 美郷町長 NPO法人YOKOTTER ヤマダフーズ(株)常務 NPOちっちゃいもの倶楽部

	2 ブース NPO 企業 横手高校定時制課程等 12 3 模擬店 うまいもの市(NPO 企業 バルンアート等) 10 4 よろず相談会 CB相談 NPO会計経理相談会 法人設立 協働相談 5 協働のマッチングボード設置 6 ミュージック&クラウンショー ・行政(県南3振興局 横手市) 企業 NPO 高等学校 による協働の実行委員会を組織し5回の協議を重ね、企画運営を行った。フェスタの全容をネットで配信し、パネルディスカッションにリアルタイムで市民の意見が反映された。
実施時期	平成24年4月26日～平成24年10月31日
実施場所	横手市公共棟 ヨヨふらざ
従事者の人数	実行委員会 各地区ボランティア多数
受益対象者の範囲及び人数	秋田県全域若者 市民活動団体・ボランティア 地域づくり団体 地域住民 小中高生 (参加者 777人)
委託総額(円)	796,200円

●「高齢・過疎地域」における共助カアップ支援業務

「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」に基づくもの。

法人の提案事業として、地域の会議体を構築し、共助の横手モデルを探っていく。住民自らの手による地域支え合い共助カアップの仕組みづくりに向けたきっかけともなった。

事業名	「高齢過疎地における共助カアップ支援業務
事業内容	中山間地域等の「高齢・過疎地域」を対象にコミュニティーの再生及び共助カアップの向上を図るため、自立的継続的な運営可能な共助の地域組織をめざす。 1 ワークショップ(地域座談会) 2 立ち上がりに向けた実践活動 会議体の担当者会議野開催 3 地元人材の発掘(地域支援員)
実施時期	平成23年9月30日～24年3月23日
実施場所	横手市 山内三又・南郷地区 増田さるはんない地区 大森保呂羽地区
従事者の人数	職員2名
受益対象者の範囲及び人数	横手 山内三又・南郷地区 増田さるはんない地区 大森保呂羽地区住民
委託総額(円)	796,200円

●外部評価 秋田県子育て支援課

事業名	平成24年度秋田県政策等の評価に係る外部評価事業 「働きながら子育てできる環境づくり」
事業内容	秋田県内の子育て環境について、子育て現場の現状や課題などを、アンケート調査の中から分析検証する
実施時期	平成24年8月1日～24年11月21日
実施場所	県内効率保育所、私立幼稚園、学童保育等
従事者の人数	2名
受益対象者の 範囲及び人数	全県子育て世代を含む全地域住民 保育関係者
委託総額（円）	449,526円

●横手市 公共棟賑わい創出事業

事業名	横手市交流センターY ² ぷらざ自主企画講座 業務委託事業
事業内容	NPO, 地縁団体等対象 まちづくり、広報、会計セミナーの開催
実施時期	平成24年9月30日～24年3月23日
実施場所	横手市交流センターY ² ぷらざ
従事者の人数	5名
受益対象者の 範囲及び人数	横手市民 NPOに関心のある市民、企業 地縁団体
委託総額（円）	300,000円

●豪雪対策シンポジウム開催事業

事業名	豪雪対策シンポジウム開催事業
事業内容	県南各市町村とNPO・自治会等の除排雪の課題を検証し、高齢者を支援する共助公助の豪雪対策のありかたを情報共有を目的にシンポを開催する
実施時期	平成25年2月7日～25年3月29日
実施場所	横手市交流センターY ² ぷらざ
従事者の人数	5名
受益対象者の 範囲及び人数	高齢過疎地域住民、支援団体、一般市民、企業
委託総額（円）	533,090円

指定管理

●平成18年度より「秋田県南部男女共同参画センター」の指定管理者となっている。

男女共同参画の意識改革と実践力を身につけることを目的に、センターの管理運営と促進のための事業を行った。更に今年度は「地域を変える男女共同参画実践力アップ事業」を受諾し「地域で防災チェック&アクション」事業と「アクテブ・シニアへ変身応援事業」を実行した。

男女共同参画の視点を活かした地域課題解決のため、各自治体・地域づくり団体・企業等とのネットワークを構築し、その協力を得ながら事業を展開することが出来た。

市民活動サポートセンターとの併設による相乗効果が顕著に表れており、民間としての柔軟な発想で市民サービスが低下しないように、また市民の目線で事業を計画し、男女共同参画社会の推進のために、地域に密着した必要とされるセンターとして管理運営を継続して行きたい。

事業名	男女共同参画普及促進事業 秋田県南部男女共同参画センター指定管理
事業内容	秋田県南部男女共同参画センター管理運営事業の遂行 男女共同参画社会づくり基礎講座 地域サポーター養成講座 コミュニケーショントレーニング養成講座 女性チャレンジセミナー支援事業 男女共同参画推進月間事業 登録団体支援事業 センターまつり 等 資料別添
実施時期	平成23年4月1日～24年3月31日
実施場所	秋田県南部男女共同参画センター 県南地区各市町村
従事者の人数	職員4名
受益対象者の範囲及び人数	秋田県南地区 一般市民 行政 企業 NPO
委託総額(円)	10,311,000円

●防災

事業名	地域を変える男女共同参画実践力アップ事業
事業内容	男女共同参画社会づくりの視点から住民と共に地域課題を解決する実践的取り組みを促進する。 1) 地域で防災チェック&アクション事業 2) アクテブシニアへ変身応援事業 資料別添
実施時期	平成24年4月1日～25年3月31日
実施場所	横手市南庁舎 湯沢市 南部男女共同参画センター
従事者の人数	職員4名 横手市 市民シニア講師
受益対象者の範囲及び人数	県南市民
委託総額(円)	2,206,300円